LEAMAN

ECE R44/04
UNIVERSAL
15 - 36kg
E13
045121

はじめにお読みください

このたびは、リーマン・ジュニアシートをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用の前には、必ず本書をお読みの上、記載された内容に従って正しくお使いください。

取扱説明書　保証書付

年少者用補助乗車装置　Group II・III

商品名　ハイバックジュニア
High Back Jr.

型式：1020

注　意

●本装置は「汎用」年少者用補助乗車装置です。　本装置は車両で一般的に使用するものとして、規則No.44の04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除いて大抵の車両のシートに適合します。

●車両メーカーの車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、装置が正しく取り付けられることはほぼ確実です。

●本装置は、認可された車両がUN/ECE規則No.16または同等の基準で許可された3点式/巻取り装置なし/巻取り装置付き安全ベルトを装備している場合のみに適しています。

●本年少者用補助乗車装置は、この注意書きが貼付されていない従来の設計よりも厳しい条件に基づいて「汎用」装置に分類されています。

●疑問があるときは、年少者用補助乗車装置のメーカーか販売店にご相談ください。

●この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	記載内容を守らないと、生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。
⚠注意	記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。
✕	図示されている内容の禁止を示しています。
Check	安全のため、かならずご確認していただきたいこと。
アドバイス	より安全、快適にご使用していただく上で知っておいていただきたいこと。

●この取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管し（本体背面の収納ポケット）、必要に応じてお読みください。

GK
121001

●当製品は、交通事故などの際に、お子さまが受ける衝撃を軽減するための年少者用補助乗車装置ですが、必ずしもお子さまを無傷で守ることができるわけではありません。運転には、必ず細心の注意をはらい、事故が発生しないように心がけてください。

1. 部品構成

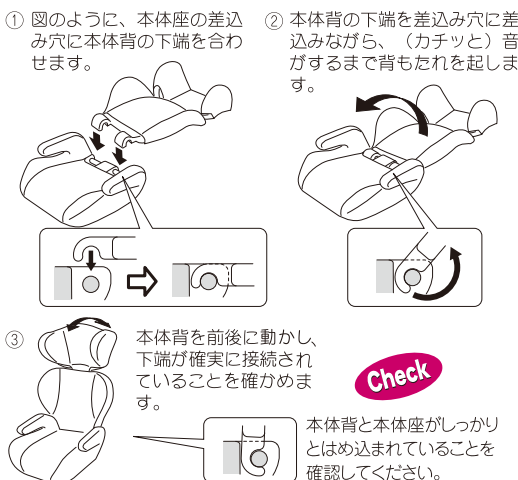
ご使用になる前に、下記の部品が揃っているか確認してください。

本体背と座の組み立て方法

① 図のように、本体座の差込み穴に本体背の下端を合わせます。

② 本体背の下端を差込み穴に差込みながら、（カチッと）音がするまで背もたれを起します。

③ 本体背を前後に動かし、下端が確実に接続されていることを確かめます。

本体背と本体座がしっかりとはめ込まれていることを確認してください。

本体背と座の取り外し方法

上記「本体背と座の組み立て方法」の逆の手順です。

2. お子さまの適用条件

体　重 身長のめやす 年齢のめやす	15kg～25kg以下 98cm～120cmまで 3才頃～6才頃まで	25kg～36kg以下 120cm～138cmまで 6才頃～10才頃まで
取り付け方向	前向き	前向き
使用部品	本体背と本体座	本体座

安全性がより高い後部座席への取り付けをおすすめします。（前席との距離を可能な限り離してご使用ください。）
また、エアバッグが装備された助手席には取り付けできません。

3. 車両への取り付け

● ジュニアシートの取り付け向き
前向き…○　後向き…×

● シートベルトの種類
3点式シートベルト…○ ※　2点式シートベルト…×

● 座席の向き
前向き…○　後向き…×　横向き…×

※ ジュニアシートは、ECE R16または同等の基準で認可された3点式シートベルトのみでご使用いただけます。
その他の特殊なシートベルトにつきましては、販売店または弊社「お客様相談室」にご相談ください。

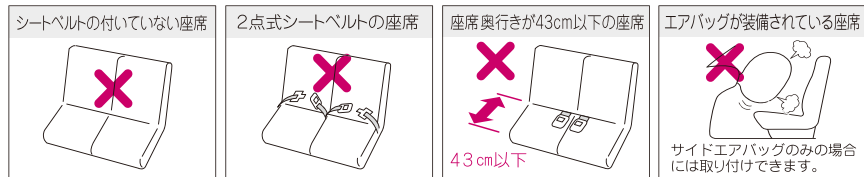
取り付けできない座席

⚠警告　車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。

シートベルトの付いていない座席

2点式シートベルトの座席

座席奥行きが43cm以下の座席

エアバッグが装備されている座席

● 3点式シートベルトで上下取り付け部が共に巻き取り式の座席。
● パッシブシートベルト（座席に座るとドアの開閉によって、自動的に脱着されるタイプのシートベルト）のついた座席。
● ALR（自動ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト）のついた座席。
● 車両進行方向に対し、後向き及び横向きの座席。（衝突の際にショックを吸収できません）
● 極端なバケットタイプなどの座席や運転に支障を及ぼす車両座席、及び前部中央座席には取り付けできません。
● その他、ジュニアシートを固定できない座席。

4. 必ずお読みください

緊急時には…

衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。

車両シートベルトのバックルボタンを押してシートベルトのロックを解除し、お子さまにかかっているシートベルトを外します。

シートベルトが外れない場合は、シートベルトをハサミなどで切断してお子さまを救出してください。

⚠警告　＊記載内容を守らないと生命の危険、または重大な傷害につながるおそれがあります。

ジュニアシートは取扱説明書どおりに固定してください。

保護者が各部分に触れて、やけどしないことを確認の上、お子さまを乗せてください。

車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。

お子さまを車内にひとりで放置することはおやめください。

エアバッグ装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。

衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けたジュニアシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。

肩ベルトが首にかかっていると、事故等のときに圧迫されるおそれがあるため、肩ベルトの高さを、首にかからないよう調整してください。

お子さまが乗っていない場合、ジュニアシートはトランクに収納しておくか、車両シートベルトでしっかり固定しておいてください。

腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。

運転中にジュニアシートの操作（ベルト調節・角度調節などの操作）をしないでください。

お子さまの不特定な行動により、ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。

ジュニアシートを改造したり、カバー類・ウレタン類などを取り外して使用しないでください。

ジュニアシートを助手席に取り付けたとき、ジュニアシートとシフトノブやサイドブレーキなどが干渉する場合があります。干渉する場合には助手席でのご使用をやめ、後部座席でご使用ください。

ジュニアシートを保管する際には、強い衝撃を与えたり、屋外など日光が当たる場所に長期間放置しないでください。

後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口には、緊急時の脱出口確保のため、取り付けないでください。

チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。（胸が圧迫され、しめつけられてしまいます。）

⚠注意 ＊ 記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

お子さまだけで乗り降りすると危険です。乗せ降ろしは必ず保護者の方が行ってください。
お子さまを乗せる際には、ジュニアシートの取り付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。
また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。
（確認は、停車し、安全な状態で行ってください。）

ジュニアシートにお子さまを乗せたまま車両への取り付け・取り外しはおやめください。

お子さまがジュニアシートの上で立ち上がったり、中腰になったりしないよう、注意してください。
また、お子さまの遊び道具にしないでください。

ジュニアシートを取り付ける際は、取り付ける車両のマニュアルを併せてお読みください。

車両シートベルト及びジュニアシートを鋭利なもので傷つけないようにご注意ください。

ジュニアシートは車両以外でのご使用をおやめください。

衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかり固定しておいてください。

可動式シートまたは車両のドアに剛性部分（プラスチック部分等）が挟まれないようにジュニアシートを取り付けてください。

お子さまの乗り降りの際など、ジュニアシートの端に体重をかけないでください。

5. ご使用方法

アドバイス　車両シートの材質・形状により、キズや跡がつく場合がありますので、ご注意ください。

本体背と本体座を合わせてご使用の場合

体重：15kg〜25kg以下　身長のめやす:98cm〜120cmまで　年齢のめやす:3才頃〜6才頃まで

車両への取り付け方

① ジュニアシートを本体背の背面が車両座席の背もたれに密着するように座席に置きます。

⚠警告　車両座席の背もたれの角度は、できるだけ起こしてご使用ください。倒しすぎた状態で使用すると、衝突の際などにお子さまの体が車両シートベルトの下をすり抜けたり、首にベルトがかかるおそれがあり、大変危険です。

② 車両シートベルトをジュニアシートにかけて、バックルに確実にロックします。

③ 肩ベルトをヘッドレスト下部のベルトガイドに通します。
赤いタグが目印です。
※ベルト通し位置に赤い印の表示が義務づけられています。

カギ型フック

④ 腰ベルトと肩ベルトを座のカギ型フックに引っ掛けます。

お子さまの座らせ方

① シートベルトのロックを解除します。

② お子さまを着座させ、シートベルトをバックルに確実にロックします。

⚠注意
このとき、お子さまの腰や背中が背もたれから離れない様にしてください。

③ 腰ベルトと肩ベルトを、本体座のカギ型フックに引っ掛かるように通します。
赤いタグが目印です。
※ベルト通し位置に赤い印の表示が義務づけられています。

（図-A）

⚠警告

ヘッドレストを上下にスライドさせ、車両シートベルトが、お子さまの首に掛からないように調整してください。
※本体を手でおさえ、しっかりと頭部を引き上げてください。

Check

- ジュニアシートの本体背と本体座の後部が、車両座席の背もたれに密着していること。
- お子さまがジュニアシートに深く腰掛けていること。
- 車両シートベルトの肩ベルトがヘッドレスト下部のベルトガイドを通り、お子さまの肩にしっかり掛かっていること。
- 車両シートベルトに緩みやねじれがなく、お子さまに当たっていること。
- シートベルト（腰ベルト・肩ベルト）が、カギ型フックを通っていること。（図-A参照）

本体座のみでご使用の場合

体重：25kg〜36kg以下　身長のめやす:120cm〜138cmまで　年齢のめやす:6才頃〜10才頃まで

車両への取り付け方

① ジュニアシートを車両座席に左記のように乗せ、後部が背もたれに当たる位置にセットしてください。

⚠警告　車両座席の背もたれの角度は、できるだけ起こしてご使用ください。倒しすぎた状態で使用すると、衝突の際などにお子さまの体が車両シートベルトの下をすり抜けたり、首にベルトがかかるおそれがあり、大変危険です。

② 腰ベルトと肩ベルトを本体座のカギ型フックに引っ掛けます。

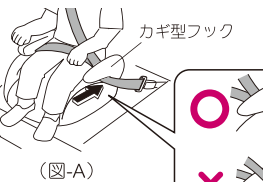
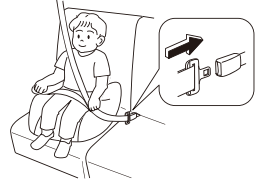
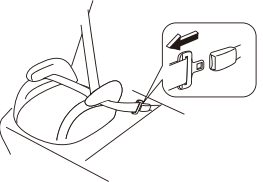
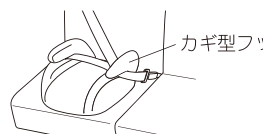
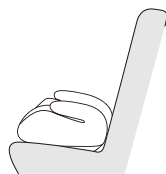
お子さまの座らせ方

① シートベルトのロックを解除します。

② お子さまを着座させ、シートベルトをバックルに確実にロックします。
⚠注意
このとき、お子さまの腰や背中が背もたれから離れない様にしてください。

（図-A）

③ 腰ベルトと肩ベルトを、本体座のカギ型フックに引っ掛かるように通します。

⚠警告
車両シートベルトが、お子さまの首に掛からないようにしてください。

- ジュニアシートの本体座の後部が、車両座席の背もたれに密着していること。
- お子さまがジュニアシートに深く腰掛け、背中が車両座席の背もたれと接していること。
- 車両シートベルトの肩ベルトが、お子さまの肩にしっかり掛かっていること。
- 車両シートベルトに緩みやねじれがなく、お子さまに当たっていること。
- シートベルト（腰ベルト・肩ベルト）が、カギ型フックを通っていること。（図-A参照）

6. お手入れの仕方

洗濯方法

- ヘッドレストカバー・背カバー・座カバーは、中性洗剤を使用して水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
- 脱水はさけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。

日常のお手入れ方法

- 樹脂部は水、またはから拭きしてください。
- 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- ガソリン・シンナーのご使用は 表面の生地や樹脂 をいためますので 絶対におやめください。

⚠警告　カバー類・クッション材などは取りはずして使用しないでください。
⚠警告　カバー類・クッション材などは、メーカー設定以外のものとは取り替えないでください。

⚠注意　カバー類の洗濯後は、ご使用前に完全に乾燥させてください。
⚠注意　カバー以外のお手入れには、変色する恐れがありますので、洗剤類を使用しないでください。
⚠注意　樹脂部を水拭きした後は、ご使用前に完全に乾燥させてください。

LEAMAN ジュニアシート　保　証　書

保証期間	お買い上げ日より 1年間（ただし保証規定による）		
商品名		シリアルNo.	（本体シールをご覧ください）
お買い上げ日　　年　　月　　日		販売店	住所（〒　　　）
お客様	ご住所（〒　　　） お名前 TEL		店名 TEL

●お買い上げ後、商品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。　お買い上げの日から左記保証期間中に製品の故障が発生した場合は、本書をご呈示の上、当社お客様相談室、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定

1. このジュニアシートの保証期間はお買い上げ日より1年間です。
2. 保証期間内に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
3. 保証期間内であっても次のようなものは有料修理になります。
   - ・落下等の衝撃による樹脂部品の破損。
   - ・シートカバー等、縫製部品の傷や破れ。
   - ・お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
   - ・火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異による故障及び損傷。
   - ・本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   - ・本書のご呈示がない場合。
   - ・一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
   - ・有料修理の場合に要する運賃等の諸経費。
4. 一度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
5. 衝突事故等、一度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

万一故障が生じました場合は保証書をご呈示ください。本書は再発行いたしませんので、　大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、当社お客様相談室、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

リーマン株式会社　〒496-0911 愛知県愛西市西保町南川原68-1
お客様相談室 TEL.(0567)27-0173 受付時間 月曜日〜金曜日（祝日・弊社指定休日は除く）AM10:00〜12:00 PM1:00〜5:00

※製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら左記宛へご連絡ください。
※製品性能向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。